



もうちょっと なんとか なりまへんか？ 第2回セミナー（企業で実施できる省エネ対策とアイデア）



（開催日）平成20年1月24日
 （会場）大阪府立女性総合センター
 （セミナー）14：00～17：00
 テーマ：『省エネによる電力コスト削減とCO2排出量の削減について』
 『様々な省エネ対策とアイデアについて』
 グループ討議

（情報交換会）17：30～19：30
 （参加者）39名

多くの会員の皆様からお寄せいただいたご要望に答え『省エネ』をテーマに第2回セミナーを開催しました。

最初は「省エネによる電力コストの削減とCO2排出量の削減について」と題して関西電力株式会社大阪南支店お客さま室 マネージャー 西村 庄一郎氏から、次に「様々な省エネ対策とアイデアについて」と題して省エネ普及指導員の宇田吉明氏からご講演いただいた後「わが社の省エネ対策とアイデア、困っていること」について5つのグループに分かれてグループ討議を行いました。

終了後のアンケート結果はとても好評で特に今回初めて開催したグループ討議については「各社の問題点など生の声が聞けて良かった」、「他社がどのような対策をしているのかが分かって良かった」、「すぐに役立つ内容だったので今後も実施してほしい」・ ・ ・といった回答が多く寄せられました。（44%）

当日は小雪が舞う大変寒い日でしたが参加者の『省エネ』に対する熱い思いで会場内は熱気に包まれ盛会裏に終わることができました。

地域部会報告（淀川地域部会）

旧淀川区都市環境研究会会員の約半数に当たる32社が、大阪市環境経営推進協議会の新会員に加入していただき、このメンバー相互の情報交換と、より地域密着型の環境経営をめざしてこのたび淀川地域部会を設立いたしました。

2月25日の設立総会では、「淀川地域部会規約」の承認と田岡化学工業㈱の稲村様の部会長以下、各役員を選出を行いました。

総会後は、大阪市環境局企画部から「大阪市環境基本計画」の解説、環境カウンセラーの宇田氏から「省エネの実例」の講義、引き続いて情報交換会に入り、各会員メンバーの自己紹介など落ち着いたひと時をすごしました。

なお、他地区の部会としては、東成地域部会がすでに総会、講演会を実施されており、今後より多くの地域部会設立の動きが出るように期待しております。



なにわエコ会議の動き

大阪市環境経営推進協議会は、「なにわエコ会議」の部会活動やさまざまな環境イベントに参加することができるよう、なにわエコ会議の団体会員（エコパートナー）になっています。

1. 「地球温暖化防止 パートナーシップフェア」

地球温暖化の加速は人間活動が原因とした国連「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の第4次最新報告が発表されるなど「地球温暖化防止」は緊急の課題です。

温暖化防止月間に合わせて平成19年12月1日（土）午後からクレオ大阪中央（ホール）で開催されました。第1部 大阪市環境表彰 表彰式の後、第2部（財）日本気象協会 関西支社 気象予報士の筒井 幸雄氏（現在NHK「おはよう関西」でご活躍中）の基調講演『地球温暖化から見えるもの』と題しエピソードも交え楽しいご講演をお聞きしました。その後『うちエコ』をテーマにかけあいトークや創作ダンス『京炎そでふれ』が演じられました。

2. 「わいがやミーティング2008」

大阪住吉発！協働で減らそうCO₂-7%

平成20年2月2日（土）午後、大阪市住吉区民センター小ホールで開催されました。

基調提案

「住吉発！協働で進めるストップ温暖化！」

松井 恭治 氏（平和製罐株式会社 管理室 室長）

報 告

- ・なにわエコライフを上げよう
- ・食育・フードマイレージからストップ温暖化
- ・ストップ温暖化は鎮守の森から
- ・区役所が取り組むストップ温暖化

協働で減らそうCO₂-7%ミーティング

地球温暖化防止やヒートアイランド抑制に向けたCO₂-7%、地域から私たちのできることをテーマに、エコカルタを通して会場の参加者全員で考え、住吉区発「ストップ温暖化エコ宣言」を行いました。

- ・全体コーディネーター岡 靖敏氏
- ・コーディネーター 天野せつ子氏

なにわエコ会議エコライフ部会では市民・NGO/NPO・事業者・行政などに呼びかけ、わいがやミーティング2006 2012「地域コラボ CO₂-7%」事業を大阪市内各区で開催・展開されています。

大阪市環境経営推進協議会からは、ご当地住吉区内の会員である平和製罐株式会社が参加、同社の環境に対する取り組みをお話しされ、区内住民の方に同社の社会的貢献についてPRできたと思います。

3. 「環境活動ふれあいひろば」

平成20年2月24日（日）に阿倍野区役所にて開催されました。中川阿倍野区長のご挨拶の後、ステージから環境教育・啓発部会の活動報告をはじめ8団体から日頃の多様な活動の発表・報告がされ、その後大阪市立高校の山田義春先生による「地球温暖化実験教室」が実演されました。「熱湯を霧吹きで涼しくする実験」「食パンを使った実験」「カレーソースや焼きそばで中和する実験」など大変面白くおかしく分かりやすく環境問題を説明していただきました。

ブースからは7団体が活動紹介を行い環境学習・教育のプログラムなどをPRされました。大阪市環境経営推進協議会からは、ご当地阿倍野区内の会員であるシャープ株式会社が参加、「森と水と子どもたち」と題して、同社の社会貢献活動について報告されました。会員の皆様、このような「なにわエコ会議」のイベントで、自社の環境への取り組みを報告されてはいかがでしょうか。

パートナーシップフェア



わいがやミーティング



環境活動ふれあいひろば



田岡化学工業(株)淀川工場の環境への取組

「社会との共存共栄」、「無事故・無災害・無公害」、「顧客重視」の経営基本理念に基づき、環境関連法規の遵守は言うに及ばず、環境保全の継続的改善に努め、資源の有効利用と廃棄物の削減を推進しています。また、地域とのコミュニケーションを図り、社会に貢献できる工場を目指して、事業活動に取り組んでいます。

淀川工場は当社の主力工場であり、約1万坪の敷地内には製造部門、本社部門、関連会社が入っており、2004年には国際環境マネジメントシステム ISO-14001 の認証を取得しました。

主な事業内容

医・農薬中間体、写真薬中間体、電子材料、合成染料等の精密化学品と接着剤、ゴム用添加剤等の機能材を製造しています。

周辺の環境

工場は新大阪駅から北西へ約1.5kmの神崎川沿いに位置し、住宅地および化学工場に隣接しており、環境への配慮が重要な立地となっています。



< 淀川工場とその周辺 >



< 清掃活動 >

環境保全への取り組み

臭気対策として、工場排ガスを脱臭炉で燃焼し臭気低減に努めています。また、環境面への配慮から重油ボイラーをやめ、ガスボイラーに全て変更するとともに、フォークリフトも全てバッテリー車に変更しました。地球温暖化対策については、省エネ委員会を設置し、ロス削減、インバーターの利用等によるエネルギー削減の取組が進められています。



< 工場排ガスの臭気対策（脱臭炉） >

地域社会との交流

地域とのコミュニケーションとして、近隣の皆様と協力して各種活動の活性化に努めています。地区の自治会が主宰する「西三国公害対策委員会」による工場パトロールは40年近くになります。また、毎朝の工場周辺の清掃では、「ご苦労様」と労ってくださる方も増えてまいりました。

こんな研究開発も行っています

人や環境にやさしいゴム薬品の開発

田岡化学では、スミカロール、タッキロールの商品名でゴム用の添加剤を販売していますが、タイヤメーカー等ユーザーの皆様がご使用になる際、溶剤等の放出を極力少なくするため、残存量の削減検討をしています。

環境にやさしい湿潤紙力剤の開発

当社湿潤紙力剤は、紙が水に濡れても破れにくいという特徴を出すための薬剤で、ティッシュペーパー、紙タオル、段ボール箱やオフセット新聞用紙等の紙製品に幅広く使用されており、製紙業界にはなくてはならない化学薬品です。

当社では、従来から化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)に指定された化学物質の含有量を削減した湿潤紙力剤を開発するとともに、今後もより環境にやさしい湿潤紙力剤の開発に取り組んでまいります。

生分解性プラスチック用可塑剤の開発

生分解性プラスチックは、使用後自然界の微生物や酵素によって分解されるもので、廃棄物の処理に際しても、地中への埋立が可能です。田岡化学では、このプラスチックを柔らかくして使いやすいフィルムとするための可塑剤の研究を行っています。

大阪市の動き

1.平成 19 年度 なにわエコライフ認定事業の認定決定！

「なにわエコライフ認定事業」とは、市民を対象にして、地球温暖化防止のために、各家庭で省エネ活動に取り組み、7月から12月までの6ヶ月間、電気やガスの使用量を記録していただき、その結果を、審査して大阪市から認定証を交付する事業です。平成19年度については、以下のとおりの結果となり、多数の参加がありました。

認定者には3月末に認定フェアにおいて、認定証が交付されます。平成20年度も6月から、応募しますので、会員や社員(大阪市在住に限る)の方は、ぜひご参加下さい。

【平成19年度の結果】

応募世帯総数 2,775 世帯 認定世帯総数 1,751 世帯

2. 「エコして得して役に立つ」の作成・配付について

このたび、市民向けに地球温暖化対策や環境家計簿などを記載した「エコして得して役に立つ」を作成しました。

内容は、平成16年2月に発行した「知って試して得をする」の内容を大幅に改正し、市民ボランティアが中心となり、企画会議を開催し、市民の方が日々行っている省エネ活動や意見を冊子の内容に盛り込むことにより、市民にとって、より親近感のあふれる冊子にしました。

1部、同封していますので、参考にして下さい。



事務局だより

第3回セミナー開催

平成20年4月16日(水)午後
場所：ドーンセンター大会議室3

テーマ：廃棄物処理

「ゼロエミッションへの取組」

(ダイキン工業)

「廃棄物管理強化とコストダウン手法」

(リサイクル・ワン)

(パンフレット・申込用紙を同封しております。)

平成20年度総会の予定

平成20年6月17日(火)午後

場所：クレオ大阪西館

総会後に、7月の洞爺湖サミットを控えて、地球温暖化防止を強く訴えるセミナーを企画中です。

「不都合な真実」(アル・ゴア元副大統領) DVD 上映

「海外の排出権取引と国内排出権取引の動向(仮題)」

野邑大阪市立大学名誉教授

(正式ご案内は後日お送りいたします)

【編集後記】

大阪市環境経営推進協議会が発足して早くも初年度を終えようとしております。このニューズレター『なにわの環境経営かわら版』も当初の計画通り第3号を発刊することが出来てひと安心です。今後もお役に立つ情報発信の場となりますように心掛けて参ります(T)

第三号 平成20年3月

発行者：大阪市環境経営推進協議会

住 所：〒559-0034 大阪市住之江区南港北1丁目14-16 WTC36階

大阪市環境局環境保全部環境活動担当

TEL:06-6615-7636 FAX:06-6615-7949

業務委託先：NPO法人 大阪環境カウンセラー協会

住 所：〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24 piaNPO411号室

大阪市環境経営推進協議会事務局業務担当

TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607

E-mail: info@osaka-e-keiei.org

<http://www.osaka-e-keiei.org/>